学年	中学２年	教科	社会	科目	社会	単位数	4
教科書名	中学生の地理（帝国書院） 中学生の歴史（帝国書院）			副教材名	中学校社会科地図（帝国書院） 新中学問題集（教育開発出版株式会社）		
コース・クラス	中高一貫						

Ⅰ 目標

［地理］

１．日本や世界の地理的事象に対する関心を高め、広い視野に立つ地理的な見方や考え方の基礎を養う。
２．地理的な基礎知識・概念・技能を確実に習得させる。
３．レポート作成や課題学習を通じて、適切な資料を選択・活用する力と思考・判断・表現力を育成する。

［歴史］

１．歴史的な事柄に対する関心を高め、我が国の歴史に対する愛情と国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
２．歴史的な基礎知識と我が国の歴史の大きな流れを確実に理解・習得させる。
３．レポート作成や課題学習を通じて、様々な資料を活用させ、歴史的事象を多面的・多角的に思考・判断・表現する力を育成する。

Ⅱ 授業のねらい

１．教材やDVD・課題学習・校外学習・発表コンクールなどを通じて、地理・歴史に関する興味関心を持たせる。
２．国名、歴史的重要人物などに関する反復学習を通じて、確実に基礎知識を習得させる。
３．授業⇒自宅学習⇒演習のサイクルで学習に取り組み、社会的事象に関する思考・判断・表現力を向上させる。
４．セクションごとに問題演習の時間を設け、初見問題にも対応できる確かな学力を習得させる。

Ⅲ 授業の進め方

１．中学２年生で、地理分野を完結させる。
２．教科書の記述だけでは不十分なので、資料集や問題集を有効的に活用する。
３．アクティブラーニングを実施し、授業内容を習得させる。（電子黒板やClassiNoteの利用）
４．小テストを学期ごとに複数回実施し、基礎的な知識を身につけると同時に、勉強の習慣を育てる。

Ⅳ 学習上の留意点

１．単発の記憶ではなく、いつ・だれが・どこで・何をして・どうなったかを関連付けて覚えること。
２．板書の書き写しだけでなく、授業内の内容を細かくメモさせ、付随する知識も身につけること。
３．配られた資料は、必ずノートに貼って（もしくはファイルに入れて）管理すること。
４．毎時、必ず教科書・ノート・図表・資料集を授業前に準備し、机上に置いておくこと。

Ⅴ 定期試験

１学期　中間試験　：歴史　第２部（３章 ３節・４節・５節）
１学期　期末試験　：歴史　第２部（４章 １節・２節・３節）
２学期　中間試験　：地理　第３部（１章・２章 ３章 九州）
２学期　期末試験　：地理　第３部（３章 中国・四国、近畿、中部、関東地方）
学年末試験　：地理　第３部（３章 東北、北海道地方）
　　歴史　第２部（４章 ４節・５節・６節）

Ⅵ 評価の方法

・各学期の定期試験　・小テスト、提出物、授業態度　・課題学習の成果

Ⅶ 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4 5 6 7	＜歴史分野＞ 第３章　武家政権の展開と世界の動き 　第３節　武士による支配の完成 　第４節　天下泰平の世の中 　第５節　社会の変化と幕府の対策 第４章 近代国家の歩みと国際社会 　第１節　 欧米諸国における「近代化」 　第２節　開国と幕府の終わり 　第３節　明治政府による「近代化」の始まり	●定期テスト ●小テスト （複数回実施） ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●安土桃山時代～江戸時代にかけての政策の変化をその目的や背景を共に理解する。 ●江戸幕府の政治と対外政策、文化などについて、歴代将軍の特徴を理解する。 ●欧米の近代化と、アジアへの進出の関係性について理解する。 ●幕末と開国・明治維新の歴史的な意義について理解する。 ●幕府が滅亡した背景を理解する。 ●明治政府による新しい政策をその目的と共に理解し、現代の日本や世界に与えた影響を考える。
二学期	9 10 11 12	＜地理分野＞ 第２部　日本のさまざまな地域 　第１章　日本の姿 　第２章　世界と比べた日本の地域的特色 　第３章　日本の諸地域 　　１節　九州 　　２節　中国・四国 　　３節　近畿 　　４節　中部 　　５節　関東	●定期テスト ●小テスト （複数回実施） ●提出物 ●授業への意欲・関心など	●日本の気候の特色を確実に理解する。 ●各地方区分にある地理的な基礎知識を理解する。 ●地形図を読み取るための基礎知識を身に着ける。 ●日本が抱える人口・資源・エネルギー・産業の諸問題を、世界との比較の中で理解する。 ●各地域の特色や伝統を歴史や気候等と結びつけて理解し、現在の課題を見つけてその解決策を考察する。
三学期	1 2 3	＜地理分野＞ 第２部　日本のさまざまな地域 　　６節　東北 　　７節　北海道 ＜歴史分野＞ 第２部　第４章 近代国家の歩みと国際社会 　　４節　近代国家への歩み 　　５節　帝国主義と日本 　　６節　アジアの強国の光と影	●定期テスト ●小テスト （複数回実施） ●提出物 ●授業への意欲・関心など	＜地理分野＞ ●各地域の特色や伝統を知り、現在の課題を見つけてその解決策を多様な視点から考察する。 ＜歴史分野＞ ●幕末から明治への流れと他国との関係を理解する。 ●欧米の近代化と、アジアへの進出の関係性について理解する。 ●幕府が滅亡した背景、明治維新の歴史的な意義を理解する。 ●アジアに進出する帝国主義と、その中での日本の立ち位置について理解する。

※　シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。